

【開催概要】令和6年度「道央ロジスク」

北海道開発局では、共同輸送・中継輸送の実現に向けて、「北海道流」物流マッチングモデル『ロジスク』を令和5年度より開始しました。
令和6年度の道東、道南及び道北での「ロジスク」開催に続き、道央ロジスクを開催しました。

※「ロジスク」とは『ロジ』スティクスを『スク』ラムを組んで『スク』スク育てていくという思いを込めた造語です。

- 1 日時 令和6年10月23日(水) 13時30分～17時00分
- 2 場所 札幌第一合同庁舎 2階講堂 (札幌市北区北8条西2丁目)
- 3 出席者 物流に課題を抱える物流事業者や荷主企業
(60の企業、団体等から100名が出席)
(※ワークショップ:48企業等・70名、オブザーバー:12企業等・30名)

4 内容

①ワークショップ(マッチング)

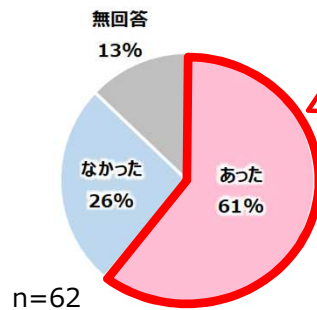
事務局があらかじめ指定した4社程度のグループに分かれて、30分ごとのローテーションを4回実施し、交流・意見交換。

②交流時間(フリートーク)

参加企業、団体等の間で自由に交流できる時間を設定。

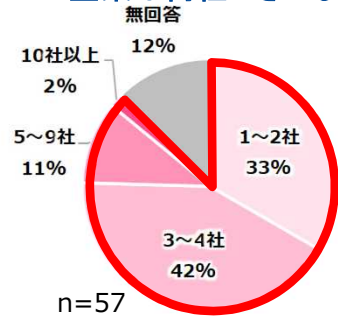
5 参加企業へのアンケート結果

Q. マッチングできそうな企業はございましたか？



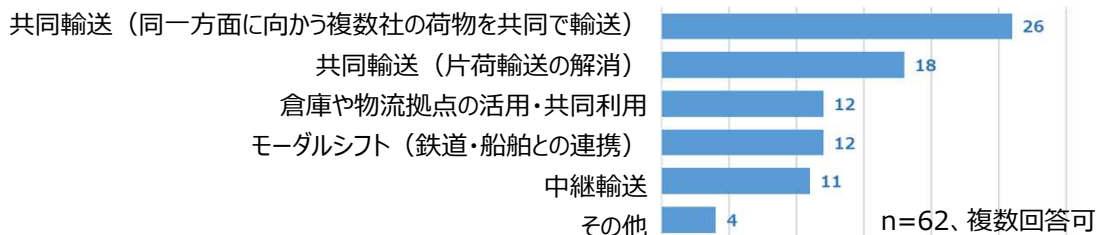
約6割が
マッチング
できそうな
企業が
「あった」と
回答

Q. マッチングに向けた話が出来た企業は何社ございましたか？



約9割が
マッチングに
向けた話が
できたと
回答

Q. 今回のロジスクを通じて実現しそうな取り組みはございましたか？



参加者の声

- ・帰り荷が少ない状況を改善するためロジスクに参加した。ロジスクで出会った他の企業様とは、マッチングの成立に向け、継続して商談させていただく機会が増えている。
- ・引き続き商談等を繰り返すなかで、多くの企業と物流課題解決に向けたスクラムを組むことができたと考えている。

- ・片荷輸送が多いため帰り荷を確保したいと思い、ロジスクに初参加。
- ・今回、大小様々な規模の物流事業者や荷主企業が参加していたため、多くの情報を収集することができた。
- ・今後も継続して参加し、自社の発展につなげていきたい。

- ・片荷輸送の解決に向け、本年ロジスクに2度参加した。前回参加のロジスクで出会った企業様とは、それ以降商談を進めさせていただいている。
- ・初回参加時は、テーブルでの会話も探りさぐりの部分があったが、2回目参加時は経験値があり話しやすかった。



ワークショップ会場全体の様子



ワークショップの様子



上段:フリートーク時の様子、下段:チラブースの様子

